

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
10	児童館行事(合同キャンプ)	子育て支援部児童青少年課

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	西東京市立児童館活動方針に基づき、日頃の児童館事業では体験できない野外活動体験を通じて、仲間づくり・児童同士の交流を図り、集団生活から協調性・社会性を養い、児童の自立・生きる力・豊かな心・思いやりといった心と身体の育成を図ることを目的とする。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業の概要	職員の業務内容	
	【児童館合同キャンプ概要】 宿泊先：山梨県北杜市(友好都市)内のキャンプ施設 宿泊数：2泊3日(テント1泊、宿泊棟1泊) 交通手段：借上げバス 内容：野外炊さん、野外イベント 対象者：市内在住の小学4年生～高校生年代(70名) 参加費：15,000円 随行者：児童館職員、看護師、指導補助員(近隣大学との連携によるインターンシップ等を活用) ※平成29年度より宿泊先やバスの手配、参加者の募集・抽選、参加費用の徴収・支払い、保険手続き等、事業の一部を旅行業者に委託して実施している。	【職員の業務内容】 ①委託先(旅行業者)決定・契約 ②武蔵野大及び近隣大学指導員募集手続き・調整 ③実踏調査 ④職員分参加費用払込・大学生参加費調整 ⑤キャンプ参加者・保護者オリエンテーション ⑥キャンプ実施 ⑦アンケート集計 ⑧写真印刷・送付 ⑨報告書作成	
事業開始時期	合併以前	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)			1,771	1,835	938
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	その他(参加者負担金)		854	1,092		
	一般財源		917	743	938	949
所要人員(B)		人	0.50	0.50	0.09	0.09
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	3,822	3,729	690	713
臨時職員賃金等(C')		千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	5,593	5,564	1,628	1,662
単位当たりコスト(E)=(D)/(参加人数)		千円	80	79	23	-

評価指標	指標名		単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	①参加人数	実績値	人	70	70	70	
	②申込人数	実績値	人	86	107	129	
《指標とした数値変化に対する要因分析など》 ①宿泊先や職員体制等の制約により参加人数は70名が最大となっている。 ②市が主催する非日常的な野外活動の体験となっており、年々申し込み件数が増加している。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	参加者アンケート結果(29年度実施) 回答数66件/70件(回収率94.3%) 【参加者】楽しかった95%/まあまあ3%/面白くなかった2% 【保護者】参加させてよかった92.4%/まあまあ6.1%/未記入1.5% ※人気のイベント 川遊び・水晶探し	
	他団体のサービス水準との比較(平均値との比較、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	多摩地域で数市の自治体が実施している。調布市では児童館ごとのキャンプと児童館合同キャンプが行われている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	旅行会社の企画する子供向けキャンプもあるが、参加費が割高である。また、児童館行事としての特色は出せない。

【一次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	普通	日常では体験できない野外活動であり、継続実施することが望ましい。
事業の必要性	普通	児童の協調性・社会性を養うとともに、心身の育成に寄与する事業である。
実施主体の妥当性	適正	児童館行事の一環であり、市が主体となって実施すべき事業である。
事業(補助)の対象	適正	対象要件、対象年齢ともに適正と考える。
事業(補助)の内容	適正	事業の一部委託も含め改善が図られ、適正と考える。
受益者負担	適正	宿泊費、交通費、食料費等適切な参加費用となっている。
事業コスト	安い	事業規模や事業内容を考えると、事業コストは最小限に抑えられている。
業務負担	普通	業務の一部委託の効果もあり、業務負担の軽減も図られている。
一次評価	今後の実施に向けた方向性	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	旅行業者への一部業務委託により事務負担の軽減が図られたとともに、近隣大学等との連携も定着し指導補助員の安定的な確保が可能となったことで、キャンプ実施期間中における、本来の児童館運営にあたる職員の負担も軽減されている。今後は、市が担うべき事務と業者に委託する事務を整理し、さらなる効率化を図るとともに、友好都市である北杜市との連携についても検討を進めていく。	

【二次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	低い	優先度は低いが、子ども達にとって貴重な体験となる。
事業の必要性	普通	児童の協調性・社会性を養うとともに、心身の育成に寄与する事業である。
実施主体の妥当性	適正	児童館行事の一環であり、市が主体となって実施すべき事業である。
事業(補助)の対象	適正	対象要件、対象年齢ともに適正と考える。
事業(補助)の内容	適正	事業の一部委託も含め改善が図られ、適正と考える。
受益者負担	適正	宿泊費、交通費、食料費等適切な参加費用となっている。
事業コスト	普通	引き続き効率的な運営を図る必要がある。
業務負担	普通	業務の一部委託の効果もあり、業務負担の軽減も図られている。
二次評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は平成25年度に実施した事務事業評価において、キャンプ実施期間中の児童館業務への影響等を課題として『抜本的見直し』の評価を受けている。現在は、参加費用の見直しや一部業務の委託化、大学との連携による指導補助員の確保など、キャンプの継続実施と児童館業務の両立に向けた見直しが図られているが、引き続き、効率的な事業実施に向けて改善・見直しを図る必要がある。	

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--